

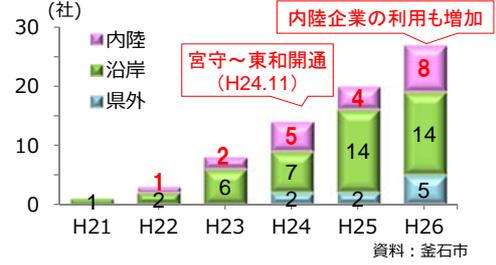
# 内陸部の産業拠点と重要港湾「釜石港」の連携強化で産業・経済の活性化を支援

- ◆「釜石港」は重要港湾として平成23年度国際フィーダーコンテナ定期航路が開設
- ◆横断道釜石秋田線と釜石港の連携により利用企業数、コンテナ取扱量が大きく増加

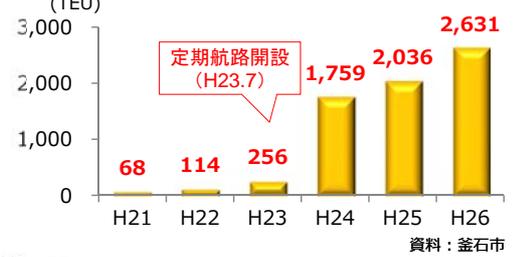
▼内陸部と釜石港の物流ルート



▼釜石港利用企業数の変化



▼釜石港のコンテナ取扱量の変化



▼宮守～東和開通後の交通量の推移



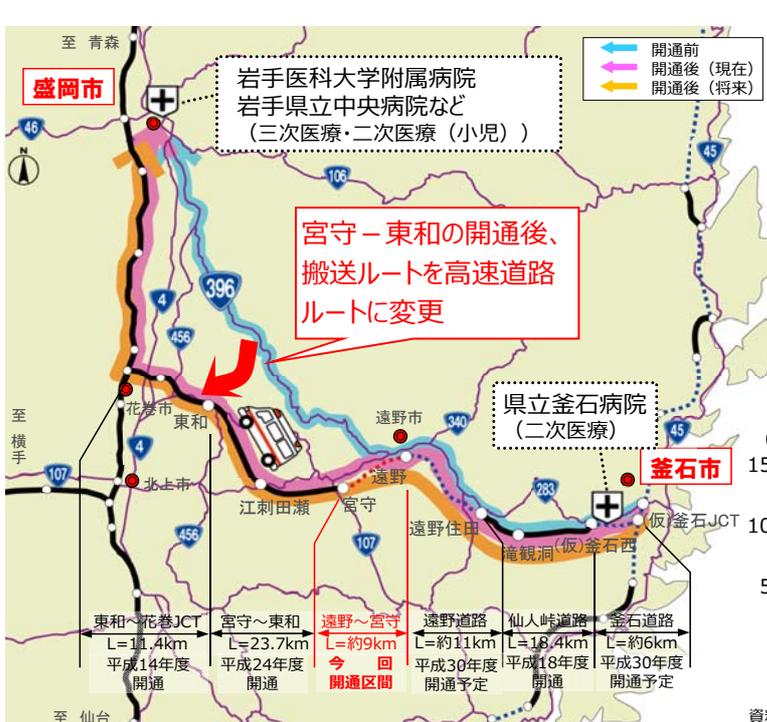
《港湾関係者の声》

- ◆釜石港利用の企業への最大のアピールポイントは、『高速道路がつながること』。横断道の開通が決まっていることが、港の利用促進・コンテナ航路誘致には大きく寄与した。
  - ◆横断道の延伸により、花巻市や北上市・盛岡市の企業の釜石港利用がさらに見込めるのではないかと期待している。
- (釜石市港湾振興課・企業立地課ヒアリング調査結果)

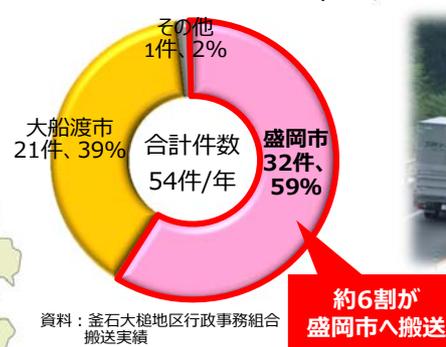
## 救急搬送の安定性・迅速性を確保

- ◆釜石地域からの管外搬送のうち約6割が高次医療施設のある盛岡市へ搬送
- ◆宮守～東和の開通では、高速道路を利用し、患者の負担軽減や安定した搬送に寄与
- ◆今回の開通により、迅速性が更に向上

▼釜石地域から盛岡市の病院への搬送ルート



▼釜石地域の管外搬送先内訳(H26)



▼釜石地域から岩手医大への所要時間



《釜石消防署の声》

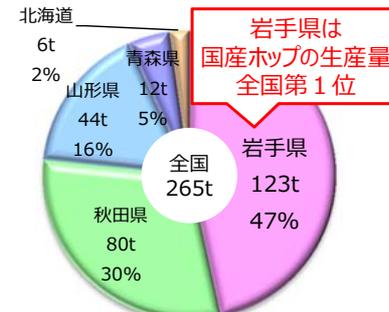
- ・新生児搬送の際は車内に保育器を置いた状態で搬送するため、カーブや路面の凹凸が容態に影響する。
  - ・患者に負担の少ない安定した搬送が可能となるため、救急搬送に東北横断道・東北縦貫道を利用するようになった。
- (釜石大槌地区行政事務組合釜石消防署 ヒアリング調査結果)

# 特産品の輸送効率化により地域産業を支援

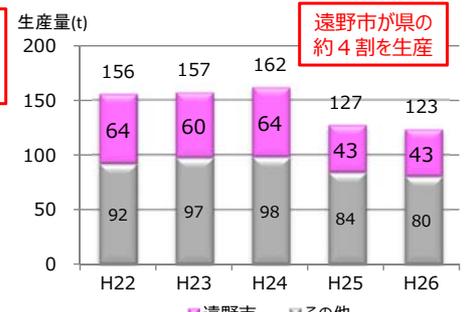
- ◆岩手県は全国一のホップ生産地であり、遠野市は県内の約4割を生産
- ◆輸送時間の短縮により、ホップの鮮度の保持や輸送効率化に寄与



## ▼県別ホップの生産量(H26)



## ▼遠野市におけるホップの生産量推移



資料：全国ホップ農業協同組合連合会「ホップに関する資料」

資料：全国ホップ農業協同組合連合会「ホップに関する資料」

## ▼遠野産ホップ



写真：遠野市

・遠野IC～宮守IC間が開通すれば**輸送時間の短縮**につながり、**輸送コストの削減**が期待される。  
 (遠野ホップ農業協同組合 ヒアリング調査結果 (H27))



# アクセス県道開通により、道の駅『遠野風の丘』が地方創生の拠点として更に機能発揮

- ◆県では遠野～宮守の整備に合わせ、遠野 I Cと国道283号を結ぶアクセス県道（新里工区）を整備
- ◆全国モデル「道の駅」に選定された『遠野風の丘』へのアクセスが円滑に
- ◆民話のふるさと遠野市の地方創生の拠点として、各観光地の情報発信等、これまで以上に機能を発揮



## ▼全国モデル「道の駅」※ 『遠野風の丘』

【広域防災拠点として高度な防災機能を分担】

- 防災の拠点**  
東日本大震災では、復旧、救援に向かう自衛隊・消防隊やボランティアの方々の後方支援拠点として機能
- 産業振興の拠点**  
沿岸被災地の海産物を販売する鮮魚店を開設し、被災地の復興を支援
- 観光や地方移住等 総合案内拠点**  
沿岸地域の復興に向け観光情報を発信  
ふるさと納税制度の紹介、納税者には、「道の駅」の特産品を提供



- ※ **全国モデル「道の駅」** (全国6箇所)  
 地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に発揮していると認められるもの  
 ・既存の「道の駅」を対象に、国土交通大臣が選定  
 ・観光、産業、福祉、防災等、地域資源の活用や地域の課題解決を図るための地域のゲートウェイや地域センターとして機能  
 ・設置から一定年数（10年以上）、継続的に地域に貢献